

2023年12月20日  
株式会社日立製作所

## 日立、DEI 推進の先進事例として、世界経済フォーラム(WEF)が発行する 「DEI Lighthouses 2024 Insight Report」に掲載 グローバルな経営リーダー育成における DEI 推進が評価を獲得

株式会社日立製作所(以下、日立)は、世界経済フォーラム(以下、WEF)が発行する「Diversity, Equity and Inclusion Lighthouses 2024 Insight Report」\*に、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(以下、DEI)推進の先進的な事例を有する企業として掲載されました。本掲載は、日立がグローバルに展開する経営リーダーの中長期的な育成施策が DEI の観点から評価されたもので、今回日本企業としては唯一の掲載です。

日立は、人的資本こそが価値の源泉と考え、世界中の多様な人財が力を結集しイノベーションを起こすことができるよう、グローバルな DEI 戦略に基づき人財の育成と社内環境の整備に取り組んでいます。

\*「Diversity, Equity and Inclusion Lighthouses 2024 Insight Report」(英語)

<https://www.weforum.org/publications/diversity-equity-and-inclusion-lighthouses-2024/>

### ■日立のグローバルな経営リーダー選抜・育成の取り組み

日立は、ジェンダーバランス、文化的多様性、世代の多様性など、あらゆる多様性の推進に取り組んでいます。変化・変革を牽引する経営リーダーの中長期的な育成(Global Leadership Development Program: GLD)においても、経営トップと指名委員会が中心的な役割を果たし、タレントプールである「GT+」にはグローバルに数百人の多様な候補者を選抜し、タフアサインメントを取り入れた OJT(On the-job Training)および Off-JT(社内外トレーニング・コーチング)を実施しています。「GT+」選抜者における外国人・女性の比率は年々増加しており、2022年度の選抜者 541 人のうち、外国人の比率は 32.2%、女性の比率は 22.6%でした。

日立は、2030年度までに役員層における外国人比率・女性比率をそれぞれ 30%にする目標を定めており、グローバルな DEI 戦略に基づいて経営リーダーの選抜・育成に取り組んでいます。

### ■「Diversity, Equity and Inclusion Lighthouses 2024 Insight Report」について

「Diversity, Equity and Inclusion Lighthouses 2024 Insight Report」は、WEF とマッキンゼー・アンド・カンパニーが DEI 推進をめざし立ち上げた「The Global Parity Alliance」によって、企業や組織の垣根を越えて先進的な DEI 推進事例の知見を共有し、より迅速でスケラブルな取り組みをグローバルに拡大することを目的として発行されるレポートです。本レポートの公表は、2023年1月に続く2回目です。

## ■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---